

ゼミ活動報告 「ダイキン工業（株）訪問」

7期生 安藤春海

7月25日にダイキン工業株式会社へ訪問し、CSR・地球環境センターの中川さんと西邑さんにCSRについてお話を伺いました。6期生も7期生も2人が卒論でCSRを取り上げていますが、本や論文にある知識だけでは実態がわかりにくい分野であるように感じます。空調機メーカーでトップシェアを誇るダイキン工業（株）からCSRについて具体的なお話から、実際企業がどのように社会に働きかけているかを学びました。

2003年がCSRの経営元年と言われています。文献を読むと、それより以前は今と比べると投資家はあまり注目していなかったテーマだったようにも感じます。しかし、現在では投資家はCSRに注目し、企業と投資家の両側からCSRをどう評価すべきか考えて行動しているのだと思いました。CSRは企業にとってもはや重要な経営戦略のひとつではないでしょうか。今回の訪問で環境に特化したCSRのお話があり、空調機販売メーカーらしさを感じました。



ダイキンはエアコンを世界に広めることと、社会がよりよくなっていくことがつながるといふ希望に胸が躍りました。全ての企業の活動が社会をよりよくなるものならば、平和な世界が実現されるのではないかと思います。



ミーティングの後、先生と訪問に参加したゼミ生でお茶をしました。それぞれが印象に残った点を話し合いながら、学ぶことが多い貴重な訪問だったと嬉しく思いました。お忙しい中時間を割いてお話を聞かせて頂きました中川さんと西邑さん、そして研究のために今回の場を設けてくださった先生、本当にありがとうございました！